

## Umckamin® syrup

Pelargonium sidoides extract EPs®7630

**ウムカイン®**シロップはドイツのSchwabe社で開発した Pelargonium sidoides抽出液(EPs®7630)を主成分にした、気管支炎、副鼻腔炎、扁桃炎、鼻咽頭炎など、急・慢性呼吸気系の感染症の治療剤として、独自の抗ウイルス、抗菌作用、去痰作用の3重効果で、90%以上のウイルス感染に起因する呼吸器系の感染疾患を効果的、かつ安全に治療する医薬品です。

### 原材料

100mL中

主成分： Pelargonium sidoides extract(別規)→17.16g

(総フェノール量「エピカテキンとして」10.6mg)

保存剤：ソルビン酸カリウム(NF)→117.0mg

### 形状

プラスチックボトルまたはアルミパウチ入りのシロップ剤、チェリーの香り、薄茶色

### 薬理作用

Umckamin® syrupは生薬抽出液として下記の薬理作用があります。

#### 1. 抗ウイルス作用「1,2」

Umckamin®(EPs®7630)は免疫調節及び細胞保護作用によるウイルス作用を表し、ウイルス感染の際にインターフェロンなど、サイトカイン生産を大幅に増加させ、周辺細胞をウイルス感染から保護。食細胞作用の促進と炎症特異的な化学物質の調節を通して、非特異的な免疫反応を強化させます。

酸素依存防御メカニズムを活性化し、大食細胞による病原体の破壊を促します。

また、抗酸化及びPDGF(Platelet-Derived Growth Factor)阻害効果により、呼吸器系の組織損傷を防ぎます。

#### 2. 抗菌作用「3,4」

Umckamin®(EPs®7630)には抗菌作用があり、死んだ上皮細胞に細菌を付着、増加させる間接的な抗菌作用により粘膜下組織への細菌侵入を防止します。また、上皮細胞への細菌付着を減少させ、細菌の集合化に対する防止効果もあります。

#### 3. 去痰作用「5」

Umckamin®(EPs®7630)は粘膜纖毛系の纖毛運動(Ciliary Beat Frequency, CBF)を30%以上増加させて、粘液分泌を促進します。

### 効能効果

急・慢性感染症、特に気管支炎、副鼻腔炎、扁桃炎、鼻咽頭炎などの呼吸器系及び耳鼻咽喉部位の感染症

## 用法・用量

### 1. 急性感染時

成人及び 12 歳以上：1 日 3 回、1 回 6～9mL 経口服用

6 歳以上～12 歳未満：1 日 3 回、1 回 3～6mL 経口服用

6 歳未満：1 日 3 回、1 回 1.5～3mL 経口服用

### 2. 慢性感染又は再発時

成人及び 12 歳以上：1 日 3 回、1 回 3～6mL 経口服用

食前 30 分に経口服用してください。

症状が緩和した後にも再発防止のために数日間服用を継続した方が良いです。

## 使用上の注意

### 1. 次の患者には投与しないでください。

- 1) 妊婦及び授乳婦
- 2) 出血傾向が増加している患者
- 3) 重症の肝疾患及び腎疾患患者

### 2. 異常反応

- 1) 胃痛、ひりひりする痛み、吐き気、下痢等の胃腸障害が起きることがあります。
- 2) 歯茎に少量の出血が起こることがあります。
- 3) 発疹、じんましん、皮膚及び粘膜がかゆくする等の反応が初回投与時に起きることがあります。
- 4) 顔面浮腫、呼吸混乱、血圧上昇と共に重い症状が起きることがあります。
- 5) 肝数値のモニタリングが必須な場合がありますが、本薬品との因果関係は明確ではありません。

### 3. 相互作用

本薬品が凝固因子に影響を及ぼす可能性のある、フェノクロブモン(Phenprocoumon)、ワルファリン(Warfarin)等のクマリン系薬品との併用投与時には凝固阻害増強効果を排除できません。

### 4. 保管及び取扱上の注意

- 1) 本製品の有効使用期限は開封後 3 か月です。
- 2) 長時間が経過した後、本製品は生薬抽出物であるため混濁する場合がありますが、薬効に影響はありません。
- 3) 本製品は生薬抽出物製剤であるため、色と味が多少変わることがあります。
- 4) 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 5) 医薬品を元の容器から出して他の容器へ保管する場合、医薬品誤用による事故発生や医薬品品質低下の原因となります。元の容器を使用し、しっかりふたを閉めて保管してください。

## 貯蔵方法

遮光機密容器、実温保管(1～30℃)

包装単位 9mL x 100 包、1L/ボトル

※使用説明書は、本製品の服用前によく読み、保管してください。

※製品の購入時、使用期限が経過、変質、破損していた場合は、ご購入先にて交換が可能です。製品に関する疑問事項及び本使用説明書の最終作成日(2010 年 8 月 31 日)以後に変更された内容はハンファ製薬ホームページ([www.hwpharm.com](http://www.hwpharm.com))又は開発部(Tel.02-959-3679)、共同販売先のユユ製薬ホームページ([www.yuyu.co.kr](http://www.yuyu.co.kr))、クローバーサービス(受信者料金負担)080-900-0066 にお問い合わせください。

- [1] Koch E.et al, Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol 2001;365 Suppl 1:R75
- [2] kayser O, Kolodziej H. Planta Med 1997;63:508-10
- [3] Frank U. et al.Poster presentation, 23<sup>rd</sup> International Congress of Chemotherapy, Durban, South Africa, 2003
- [4]Dorfmueller A.et al. Abstract from the congress for Phytopharmaceuticals and Phytotherapy, Berlin, 2005
- [5] Neugebauer P, et al. Phytomedicine 2005;12:46-51

共同販売者 ハンファ製薬 ユユ製薬

製造依頼者 ハンファ製薬

製造者 アジュ薬品工業(株)

技術提携 Dr.Willmar Schwabe

KAS 080829

※KAS 100831

640310-3-3